

## 観察の視点を広げ、深めるための放送番組の活用

北海道札幌市立栄東小学校 教諭 田澤 裕子

### 小学校4年 理科 カガクノミカタ

#### 番組の特徴

普段何気なく見ているものの中に潜むたくさんの「ふしぎ」に気づくのは意外に難しい。番組を通して様々な「科学の見方」を知り、子どもたちが自ら「ふしぎ」を見つけ、「問い」を作る、いわゆる「課題発見力」の育成につながる番組である。

#### 研究の概要

子どもの観察に対する意欲を高め、多様な視点で観察しようとする姿勢を養うことをねらい、新番組「カガクノミカタ」を活用した。番組視聴の前後に観察の視点に関するミニテストを行い、番組で学習したことを話し合いながらまとめることで、観察の視点が広がったことに気付かせた。その後の観察においても、これまでと比較して多様な見方で対象物を観察できるようになった。

#### 授業デザイン

単元：秋と生き物

目標：植物の成長や変化に興味・関心をもち、多面的に観察することができる。

導入	観察に関するミニテストを実施する。
課題把握	もっとくわしく観察するためのポイントを見つけよう
番組視聴	パイロット版
話し合い	番組を見てわかったことを整理する。
たしかめ	導入と同じミニテストを実施し、学習前との違いを確認する。
観察	ヘチマの実を観察する。
ふり返し	ワークシートに学習のふり返しを記入する。
番組視聴	第2回 中を見てみる
観察	サクラの木を観察する。
ふり返し	ノートに学習のふり返しを記入する。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 観察の視点を広げる多様な見方

教科書では、観察の視点について「全体の様子」「形」「色」「大きさ」とあり、これらの項目について調べるだけになってしまいがちである。いろいろな視点をもつことで、より主体的に植物の不思議を見つけようとする意識を高めるために活用した。

##### 予想しながら観察する姿勢

観察の前に様々な人が予想をするシーンがあり、理科に必要な予想をする姿勢も養われるので活用した。

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### 観察の視点ミニテストの実施（目的意識）

番組を活用して観察の視点を広げることを意識して、番組視聴の前後に、観察カードに記入する内容について考えつく限り書き出すミニテストを行った。同時に、本単元で学ぶ課題や目的を共有した。

##### 番組視聴後の話し合い

番組を見たあとに、グループや全体で交流しながら新たに学んだ観察の視点を板書にまとめることで、子どもたちの学びを見える化した。

##### ノートに学習のふり返しを記入

観察を終えたあとに、自分の観察カードを過去にかけたものと比較しながら、自分の変化や番組の効果についてワークシートやノートにふり返しを書かせ、本単元で学んだことを明確にした。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価から

- 「カガクノミカタ」を見た後のミニテストは、見る前よりたくさんのポイントを書けた。
- 「カガクノミカタ」のおかげで、観察のしかたをたくさん学ぶことができた。
- もっと観察がしたくなった。

##### 評価シートから（単元前後で有意差が見られた5項目より抜粋）

- 自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができると思いますか（平均値↑）

#### 実践を終えて＜行動宣言＞

観察の視点を広げ、より主体的に観察をできるようにすることを目的に番組を活用した。単元前後のアンケートでは、「観察、実験から分かったことや考えたことをまとめることができる」の項目で減少が見られた。実際の観察では、「もっと書きたいけど時間がない。」という児童の声があったことから、自分の考えをまとめることに対する意識が高まったために、アンケートの評価基準も上がったものと考えられる。今後も番組を様々な活用したい。